

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【公表番号】特表 2011-524367 (P2011-524367A)

【公表日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-035

【出願番号】特願 2011-513704 (P2011-513704)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 17/02

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 33/24

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 5 月 11 日 (2012.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 創面切除装置と、

b) 金属イオン封鎖剤、界面活性剤および緩衝剤を含有する細胞外ポリマー物質の溶媒和系を含む容器であって、前記溶媒和系を創傷に適用するために塗布器と流体連通する容器と、

c) 少なくともいくつかの創面切除された壊死した組織または他の失活した組織および過剰な溶媒和系を前記創傷から除去する吸引装置と、を備える、慢性の創傷を治療するための装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の装置において、

前記溶媒和系塗布器は、十分な流量または十分な圧力の溶媒和系を適用することによっ

て、前記創傷から少なくともいくつかの失活組織を創面切除する創面切除装置としても機能する装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の装置において、

前記塗布器は前記溶媒和系を流量 $7 \text{ cm}^3 / \text{秒}$ を超え、 $20 \text{ cm}^3 / \text{秒}$ 未満で塗布する装置。

【請求項 4】

請求項 2 記載の装置において、

前記塗布器は溶媒和系を送出圧力約 30 kPa ~ 約 500 kPa で塗布する装置。

【請求項 5】

請求項 2 記載の装置において、

前記塗布器は溶媒和系を送出圧力約 60 kPa ~ 約 350 kPa で塗布する装置。

【請求項 6】

請求項 1 記載の装置において、

前記金属イオン封鎖剤は、細菌バイオフィルム中の 1 つまたは複数の金属イオンを隔離するには十分であるが、前記創傷中の健康な組織または治療可能な組織を害するほどの酸性度ではない弱酸である方法。

【請求項 7】

請求項 1 記載の装置において、

前記金属イオン封鎖剤は、ナトリウム、カルシウムまたは鉄の封鎖剤を含有する方法。

【請求項 8】

請求項 1 記載の装置において、

前記金属イオン封鎖剤は、カルボン酸、二塩基酸、三塩基酸またはそれらの混合物を含有する方法。

【請求項 9】

請求項 1 記載の装置において、

前記金属イオン封鎖剤は、ギ酸、酢酸、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、シュウ酸、オキサミド酸、グリコール酸、乳酸、ピルビン酸、アスパラギン酸、フマル酸、マレイン酸、コハク酸、イミノ二酢酸、グルタル酸、2 - ケトグルタル酸、グルタミン酸、アジピン酸、グルクロン酸、粘液酸、ニトリロ三酢酸、サリチル酸、ケトピメリン酸、安息香酸、マンデル酸、クロロマンデル酸、フェニル酢酸、フタル酸、ホウ酸またはそれらの混合物を含有する装置。

【請求項 10】

請求項 1 記載の装置において、

前記金属イオン封鎖剤は、クエン酸を含有する装置。

【請求項 11】

請求項 1 記載の装置において、

前記界面活性剤は、アルキルスルファート、アルキルスルホナートまたはアリアルスルホナートまたはそれらの混合物を含有する装置。

【請求項 12】

請求項 1 記載の装置において、

前記溶媒和系は、さらに抗菌剤を含有する装置。

【請求項 13】

請求項 1 2 記載の装置において、

前記抗菌剤は、局所抗生物質を含有する装置。

【請求項 14】

請求項 1 2 記載の装置において、

前記抗菌剤は、ペプチドを含有する装置。

【請求項 15】

請求項 1 2 記載の装置において、

前記抗菌剤は、細菌選択性ペプチドを含有する装置。

【請求項 16】

請求項 12 記載の装置において、

前記抗菌剤は、ガリウムアセトアセトナート、臭化ガリウム、塩化ガリウム、フッ化ガリウム、ヨウ化ガリウム、ガリウムマルトラート、硝酸ガリウム、窒化ガリウム、ガリウムパーコラート、亜リン酸ガリウム、硫酸ガリウムまたはそれらの混合物を含有する装置。

【請求項 17】

慢性の創傷を治療するための患者ケアキットであって、

トレイ；シリンジ；金属イオン封鎖剤、界面活性剤および緩衝剤を含有する E P S 溶媒和系を含む入れ物；および慢性の創傷を治療するために前記キットの適切な使用が記載された印刷された指示書を含むキット。

【請求項 18】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記溶媒和系のオスモル体積濃度は約 1 , 0 0 0 ~ 約 4 , 0 0 0 m O s m であるキット。

【請求項 19】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記溶媒和系のオスモル体積濃度は約 1 , 5 0 0 ~ 約 2 , 6 0 0 m O s m であるキット。

【請求項 20】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記金属イオン封鎖剤は、細菌バイオフィルム中の 1 つまたは複数の金属イオンを隔離するには十分であるが、前記創傷中の健康な組織または治療可能な組織を害するほどの酸性度ではない弱酸であるキット。

【請求項 21】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記金属イオン封鎖剤は、ナトリウム、カルシウムまたは鉄の封鎖剤を含有するキット。

【請求項 22】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記金属イオン封鎖剤は、カルボン酸、二塩基酸、三塩基酸またはそれらの混合物を含有するキット。

【請求項 23】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記金属イオン封鎖剤は、ギ酸、酢酸、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、シュウ酸、オキサミド酸、グリコール酸、乳酸、ピルビン酸、アスパラギン酸、フマル酸、マレイン酸、コハク酸、イミノ二酢酸、グルタル酸、2 - ケトグルタル酸、グルタミン酸、アジピン酸、グルクロン酸、粘液酸、ニトリロ三酢酸、サリチル酸、ケトピメリン酸、安息香酸、マンデル酸、クロロマンデル酸、フェニル酢酸、フタル酸、ホウ酸またはそれらの混合物を含有するキット。

【請求項 24】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記金属イオン封鎖剤は、クエン酸を含有するキット。

【請求項 25】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記界面活性剤は、アルキルスルファート、アルキルスルホナートまたはアリアルスルホナートまたはそれらの混合物を含有するキット。

【請求項 26】

請求項 17 記載のキットにおいて、

前記溶媒和系は、さらに抗菌剤を含有するキット。